

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・62〉	いわき市立 勿来第二小学校
〈実施日〉	平成 28年	7月 4日(月)
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()	
〈実践内容〉	1. 「ほうしゃせんってなんだろう？」(O×クイズ)を実施する。 【項目】 ① ほうしゃせんは、いえやたてもののそとにある。 ② ほうしゃせんには、いろや、においがある。 ③ ほうしゃせんは、ものをとおりぬける。 ④ ほうしゃせんは、うちゅうにもある。 ⑤ ほうしゃせんは、たべもののなかからもでる。 ⑥ ほうしゃせんは、むかしはなかった。 ⑦ 「ほうしゃせん」と「ほうしゃのう」は、おなじものだ。 ⑧ ほうしゃせんは、きけんなので、ぜったいにあびてはいけない。 2. 紙芝居資料「ホウシャ線ってなんだろう?!」(除染情報プラザ)を活用し放射線についての解説を行う。 3. O×クイズの解答を確認し、分かったことや感想を書く。	
〈成果〉	・放射線に関するO×クイズは、学習内容への関心を高めたり、理解を深めたりするうえで効果的であった。 ・紙芝居資料は、目には見えない放射線について、イラストで分かりやすく示してあるので、低学年の児童の実態に合っていた。 ・終末に書いた児童の感想から、放射線を必要以上に怖がることなく、正しく身を守る方法を考えようとする意識の変容がうかがえた。	
〈課題〉	・紙芝居資料は、放射線についてのガイドラインを捉えるのには効果的な資料であるが、震災直後の内容が多く、現在の状況の中で自分は放射線とどう向き合っていたらよいのかということを考えさせるには、不十分なところがある。現在の子どもたちにとって必要性のある、より身近な例を取り上げた資料や体験活動等を工夫したい。	
資料作成担当者職(教諭)氏名(武藤 久仁子)	学校電話番号(65-2622)	

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)